



中沢かつゆき 通 信

自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



自由民主党



自民党鎌倉市連合支部幹事長

市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！

6月議会

新ごみ焼却施設建設予定地として、山崎浄化センター空地と決めた、との報告が市長からありました。鎌倉市内でも特に住宅密集地であり子供たちも増えて山崎小学校では教室が足りなく、学童保育も待機児が出ている地域。山崎浄化センター建設時に地元の皆さんとお約束したスポーツ関連施設を未だ整備しておらず、多くの市民の皆さんが反対されています。ゴミ収集車の騒音と振動問題。臭気と発生ガス問題。迷惑施設の山崎地域への一極集中問題等。さらには、JR跡地整備が進むと人口増と観光客、買い物客増によるごみ増加と2020年オリンピック・パラリンピック開催に向けた観光振興策に対して、現在稼働している名越焼却場よりも焼却量を少なくするという施設計画。住みやすい鎌倉、子育てしやすい鎌倉を目指していますので、さら

新たな観光施策

江戸時代東海道が整備されましたが、江戸後期になると戸塚宿から浦賀までの「浦賀道」が整備されました。岩瀬から大船、建長寺門前を通り若宮大路、下馬から名越を通り逗子、葉山から浦賀へ。また、藤沢宿から片瀬を通り江の島。江の島から腰越、稲村、極楽寺、長谷を通り下馬までは、「江の島道」として整備されています。江戸後期、ペリーが浦賀に来てから多くの人々が浦賀を訪れています。幕末の志士も。東海道から浦賀へ行く道は、この二つの街道のどちらかを通ります。世界遺産登録を目指した鎌倉市は、必然「鎌倉時代」の鎌倉にスポットを当ててきました。しかし、世界遺産登録が再検討となった今、新たな遺産、観光資源の周知を進めていく必要があります。「浦賀道」と「江の島道」の案内板等の整備をまずは進めていきます。幕末の志士が

に人口増が予想され、ゴミは確実に増えることが容易に推定される状況。未だゴミ処理計画では戸別収集・有料化となっています。

まずは、ゴミ処理計画全体を再見直しをして、再度計画を行ってその中でゴミ焼却場について検討すべきと議会で発言してきました。これからも、ゴミ処理計画全体を見据えた質疑を行っていきます。

姉妹都市・萩市の5資産がイコモスにより世界遺産登録勧告されました。来月に世界遺産登録が決定されます。鎌倉の新たな観光として取り上げていきますのが、幕末・維新期の鎌倉。まさに、密接に関わっています。今秋の姉妹都市物産展や中央図書館での企画展など、幕末・維新期の鎌倉の魅力発信を続けていきたいと思えます。

通った「夢」の道。

さらに、北条義時邸跡の再整備を行い、エリアを「武士の時代エリア」として観光整備していきます。源頼朝公墓所を左に北条義時邸跡を右に。奥には、島津忠久公墓所と大江広元公墓所、毛利季光公墓所。薩長同盟ゾーン。幕末の薩長同盟よりも40年以上も前にここ鎌倉で「薩長同盟」が実現し、多くの藩侯や藩士が参拝に訪れています。ここから、鎌倉宮、永福寺跡までの観光動線を確立し、吉田松陰先生が何度も訪れた瑞泉寺まで。外国人観光客が増えている鎌倉。Wi-fiを整備して、立体映像をスマホで再現することができるようにするなど、新たな観光振興施策も図っていきます。鎌倉の新たな魅力発見を。

防災について

5月30日20時23分、小笠原諸島西方沖を震源とする地震が発生しました。直後は「M8.0、震源の深さ10km」として一斉にネット等で流れました。東日本大震災とよく似た長い時間の揺れに、緊張しました。鎌倉への津波が予想され、地元消防団の皆さんと情報収集に奔走しました。2分後、M8.5、震源の深さは590kmと発表されました。翌日にはM8.1、震源の深さは682kmと修正されています。20世紀以降M8以上の地震で最深の震源となりました。

この時、鎌倉市からはエリアメールもなく防災メールも無し。藤沢市や大和市は、ツイッターで連携した情報をすぐに流しています。翌日の鎌倉市のHPにも、一切地震については記載がありませんでした。東日本大震災の教訓が全く生かされていない事態に、愕然としました。土曜日の夜でしたので子供たちは保護者と一緒だったり自宅などにいたと思います。これが登下校時間だったら。東日本大震災当日は、一部の学校で余震がまだ収まりきらない中下校させられ、何時間も行方不明になった

児童もいました。そのことを踏まえて、メール配信を整備しています。

しかし、今回は全く機能しませんでした。鎌倉市の防災メールは手入力。Twitterアカウントも手入力。鎌倉市の震度が3でしたので、エリアメール他も機能せず。津波防災で、防波堤などハード整備ができない鎌倉。いかに情報を早く伝えるかが急務であり、整備してきたはずです。例え後日修正があったとしても、まずは伝えるべき。担当課と協議をし、自動配信システムにできないか確認をしていただきました。現在のシステムでも、機能追加で可能とのこと。これから台風シーズンにもなります。また近年のゲリラ豪雨も懸念されます。補正予算措置を取らなくても可能とのことですので、早い整備を進めていきます。

近隣市で、ツイッターにいち早く情報が流れ、修正された情報も何度も流れていく。鎌倉市でも、当たり前前の情報発信システムを構築します。

中沢かつゆきの経歴

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業
 東京電機大学理工学部情報科学科卒業
 スパライズ株式会社代表取締役
 大阪観光大学観光学研究所客員研究員
 鎌倉中央ロータリークラブ副会長
 材木座保育園保護者会会長
 にかいどう子どもの家父母会会長
 県議会議員中村省司秘書
 湘南獣医師会 顧問
 鎌倉野球協会副会長
 著書「安全な温泉・あぶない温泉」
 （草思社刊）
 鎌倉市議2期 総務常任委員長
 二階堂在住
 事務局：Tel 0467-61-0305
 Fax 0467-24-5658

アスベストとセキュリティー

御成旧講堂屋根にアスベスト含有のスレート材が使用され破断された状態で放置されていることが発覚。平成22年、第一小学校で耐震工事中にアスベストが飛散した時、議会で質疑をし全面交換させました。今回は、3月に報告がなされているにもかかわらず放置。杜撰な管理です。まずは、早急な調査と撤去を求めました。

市民の方が提訴された鎌倉山開発問題。鎌倉市が高裁の差戻を不服として上告しましたが、その決裁が杜撰でした。市長は決裁処理を確認したのは2週間後。その間に完結文書となってしまっていました。さらには、文書管理システムの管理IDなども、誰も知らないという状況。情報漏えいが起きていたのかどうかさえもわからない状況です。早急に体制を整え、人的そしてシステムの整備をして情報漏えいの内容徹底して構築をするよう要請しました。

ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？

* 中沢かつゆきは温泉コンサルタントでもあります *



野沢温泉：北陸新幹線が開業し、新たな観光客誘致も進む長野。7年に一度の善光寺の御開帳もあり、賑わっています。1998年には、長野冬季オリンピックが開かれ、世界に「NAGANO」が発信されました。善光寺門前の長野駅から飯山線に乗り換え飯山駅で下車。バスで25分。外湯で有名な野沢温泉があります。野沢温泉といえば、野沢菜でも有名。長野旅行のお土産の定番です。湯仲間によって守られてきた外湯は、大湯に薬師三尊、その他の湯には十二の神将を奉り13の外湯を成しています。泉質は大湯が単純硫黄泉。胃腸病・リウマチ・婦人病・中風など。その他の湯は、石膏—硫黄泉などで、糖尿病や切り傷、婦人病などの適応症です。野沢温泉というとスキーと雪のイメージですが、春の高原散策、夏のキャンプ、秋の紅葉も見事で、四季を通じて楽しめる温泉です。地元で味わう野沢菜は、少しづつ味に違いがあり、やはりおいしいです。高原の風を浴びて湯につかる。野沢温泉ならではのです。

<http://nozawakanko.jp/>